

シールド管に対する更生工法の 設計手法に関する検討会

(公財) 日本下水道新技術機構



公益財団法人

下水道機構

日本下水道新技術機構

- 令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没を受けて、国土交通省により設置された「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」の提言に基づき、各地方公共団体において「下水道管路の全国特別重点調査」が実施されたところであるが、令和8年2月時点の調査結果において、大口径管（シールド管）においても緊急度Ⅰの要対策箇所が報告されている。
- 既設シールド管を更生工法により改築を実施するという要望がある一方、「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン2017年版（日本下水道協会）」では、主に鉄筋コンクリート管等を念頭にしており、シールド管の扱いについて明確になっていない状況である。
- このような背景を踏まえ、シールドセグメントの一次覆工まで劣化・欠損が生じている場合も含め、シールド管等（ミニシールド含む）に対する更生工法の設計手法について検討を行うため、「シールド管に対する更生工法の設計手法に関する検討会」を設置する。

検討事項

- 1) シールド管等に対する各更生工法の採用実績及び日本下水道協会の既存マニュアル等を勘案した課題整理
- 2) シールド管等に対する更生工法の設計手法の整理
- 3) シールド管等の更生工法の設計手法に関する今後の課題と対応の方向性の整理

日 時: 令和8年6月4日(木) 10:00～12:00

場 所: 日本下水道新技術機構 8階中会議室(Web会議併用)

議 事: (1) 本検討会の設置趣旨及び検討会の進め方(案)等について
(2) 全国特別重点調査における調査結果について
(3) 現状の設計手法について
(4) シールド管等の更生工法の設計手法に関する課題(案)について

委員長: 早稲田大学 小泉 淳 名誉教授

参加団体: 国土交通省、埼玉県、東京都、愛知県、横浜市、名古屋市、大阪市、
(公社)日本下水道協会、(公社)全国上下水道コンサルタント協会、
(公社)日本下水道管路管理業協会、(一社)日本管路更生工法品質確保協会、
(一社)日本管更生技術協会、日本シールドセグメント技術協会、三分割管工業会

※年内で報告書としてとりまとめを行う予定